

第25期
事業報告書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

学校法人
中央医療学園

第25期
学校法人中央医療学園
事業報告総括

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【中央医療学園専門学校】

I. 学校

1) 学生数

柔道整復学科

	昼間部					夜間部				
	在学数	進級 卒業	留年	休学	退学 学籍	在学数	進級 卒業	留年	休学	退学 学籍
1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2年生	12	9	0	0	3	6	4	0	0	2
3年生	17	13	1	2	1	13	13	0	0	0

※ () 内は編入者数

鍼灸学科

	昼間部					夜間部				
	在学数	進級 卒業	留年	休学	退学 学籍	在学数	進級 卒業	留年	休学	退学 学籍
1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2年生	8	6	0	0	2	9	6	0	0	3
3年生	13	13	0	0	0	12	12	0	0	0

※ () 内は編入者数

2) 入学試験及び広報活動

中央医療学園専門学校としては、募集停止の申請をしているため説明会・試験等の募集活動は行っていない。

① 入学試験

中央医療学園専門学校としては、募集停止の申請をしているため入学試験は行っていない。

② 広報活動

中央医療学園専門学校としては、募集停止の申請をしているため広報活動は行っていない。

3) 学校説明会・体験入学

中央医療学園専門学校としては、募集停止の申請をしているため説明会・体験入学は行っていない。

4) 主な学校行事

平成31年4月4日	新年度授業開始
平成31年4月20日	学生健康診断
令和元年7月27日	バーベキュー大会
令和元年10月19日	鍼灸学科実技認定審査
令和元年12月1日	柔道整復学科実技審査会
令和2年3月26日	卒業式(於:サンパール荒川)

5) 国家試験

①第 28 回柔道整復師国家試験

(試験日:令和 2 年 3 月 1 日/合格発表日:令和 2 年 3 月 26 日)

・新卒者

昼間部 9 名中 合格者 9 名 (合格率 100.0%)

夜間部 5 名中 合格者 4 名 (合格率 80.0%)

全国平均 84.8%

本校平均 92.9%

・既卒者

受験者数 34 名中 合格者 8 名

全国平均 16.5%

本校平均 23.5%

・総受験者数

本校 48 名中 合格者 21 名 (合格率 43.8%)

全国 5,270 名中 合格者 3,401 名 (合格率 64.5%)

②第 28 回はり師きゅう師国家試験

(試験日:令和 2 年 2 月 23 日/合格発表日:令和 2 年 3 月 26 日)

はり師

・新卒者

昼間部 11 名中 合格者 9 名 (合格率 81.8%)

夜間部 9 名中 合格者 8 名 (合格率 88.9%)

全国平均 89.3%

本校平均 85.0%

・既卒者

受験者数 8 名中 合格者 2 名

全国平均 17.4%

本校平均 25.0%

・総受験者数

本校 28 名中 合格者 19 名 (合格率 67.8%)

全国 4,431 名中 合格者 3,263 名 (合格率 73.6%)

きゅう師

・新卒者

昼間部 11 名中 合格者 9 名 (合格率 81.8%)

夜間部 9 名中 合格者 8 名 (合格率 88.9%)

全国平均 88.9%

本校平均 85.0%

・既卒者

受験者数 8 名中 合格者 1 名

全国平均 14.4%

本校平均 12.5%

・総受験者数

本校 28 名中 合格者 18 名 (合格率 64.2%)

全国 4,308 名中 合格者 3,201 名 (合格率 74.3%)

6) 国家試験対策

①在校生の国家試験対策

・動機付けを目的としてイベントを実施 (ガイダンス、国試対応方法等)

・国家試験対策専門授業の開講

・国家試験対策補習の実施

・国試模擬実力試験の実施

制限時間、問題配分、休憩時間を設け、限りなく本番に近いシチュエー

シオンを設定し、半日がかりで実施。

- ・実力試験の結果を解析し、分析表に基づき指導
- ・柔道整復学科実力試験：基礎学力向上を重点において実施

対象：3年生

第1回	令和元年 5月 11日	科目別試験①	「解剖学」「生理学」
第2回	令和元年 6月 22日	科目別試験②	「解剖学」「生理学」
第3回	令和元年 7月 20日	科目別試験③	「柔道整復理論」
第4回	令和元年 10月 19日	科目別試験④	「必修問題」「一般問題」
第5回	令和元年 12月 14日	科目別試験⑤	「必修問題」「一般問題」
第6回	令和2年 1月 18日	科目別試験⑥	「必修問題」「一般問題」
第7回	令和2年 2月 22日	科目別試験⑦	「必修問題」「一般問題」

- ・鍼灸学科実力試験：国家試験受験科目全般の学力向上を目的とし実施

令和元年 5月 28日	3年生学力向上試験①
令和元年 6月 26日	3年生学力向上試験②
令和元年 7月 9日	3年生学力向上補習①
令和元年 7月 16日	3年生学力向上補習②
令和元年 7月 24日	3年生学力向上試験③
令和元年 8月 9日	3年生実力試験
令和元年 11月 9日	3年生全国模試
令和元年 12月 21日	3年生実力試験
令和2年 1月 11日	3年生応用実力試験

②既卒者の国家試験対策

- ・無料聴講の実施

「既卒者対策」として既卒者（1年目のみ対象）には、国家試験対策講義を開放し、次年度合格へのサポートを行った。申込者数は以下の通りである。

前期：鍼灸学科3名、柔道整復学科2名

後期：鍼灸学科2名、柔道整復学科4名

- ・実力試験サポート

学校主催実力試験の受験を開放し、成績表（学力分析票）を発行し、受験勉強対策の指針を提示。

7) 学力低迷者対策

①柔道整復学科

- ・夏期講習会（3年）および夏季臨床実習（2・3年）

夏季講習会は3年生を対象に8月7日から8月14日まで実施した。

主要科目の柔道整復理論を7分野に分類して行った。

夏季臨床実習においては、本校卒業生会より借用した超音波画像診断装置を使用して、プローブの使用方法や軟部組織などの基礎的な観察を行った。超音波画像診断装置は、使用においては資格が必要ないため、柔道整復師にとって損傷した組織を観察できる有用な機器であり、実習ではその画像に触れられる良い機会となった。

・夏期講習および夏季臨床実習日程

部	時間	8月7日	8月8日	8月9日	8月13日		8月14日	
		(水)	(木)	(金)	(火)		(水)	
		3年	3年	3年	3年	2年	3年	2年
昼	13:30~	3年臨床実習	下肢骨折	3年臨床実習	上肢骨折	2年臨床実習	骨折総論	2年臨床実習
	15:00	丸茂	羽田	丸茂	藤田	丸茂	鶴田	丸茂
	15:15~	3年臨床実習	下腕脱/軟	脱臼総論/体幹	上腕脱臼	2年臨床実習	上肢軟損	
	16:45	丸茂	佐々木	木野田	平戸	丸茂	丸茂	
夜	18:00~	3年臨床実習	下肢骨折	3年臨床実習	上肢骨折	2年臨床実習	骨折総論	2年臨床実習
	19:30	丸茂	羽田	丸茂	藤田	丸茂	鶴田	丸茂
	19:45~	3年臨床実習	下腕脱/軟	脱臼総論/体幹	上腕脱臼	2年臨床実習	上肢軟損	
	21:15	丸茂	佐々木	木野田	平戸	丸茂	丸茂	

・授業内小テスト

3年生の後期授業より、国家試験の出題に関連のある全ての授業で、始業時に小テストを行った。テストは国家試験の出題形式と同様に四肢択一または択二として10問を10分で解答するものとした。小テストの解答解説を当該授業内でおこなったうえ、学生各自の成績動向と学習意欲の向上のため、週ごとに採点を集計して、合計点および順位を翌週に教室内に掲示して公表した。
(氏名公表は10位以内の者、他は学籍番号のみ公表)

・業者模擬試験の受験料補助

国家試験会場として使用される大正大学(豊島区西巢鴨)を利用した業者模擬試験(株式会社ジャパン国試合格)の受験を希望する学生に対し、受験料の一部補助を行い受験を奨励した。全国的に行われている模擬試験のため、学生自身の成績把握に役立った。受験した学生には、多くの他校の受験生がいる試験会場に慣れ、過度の緊張を抑えて受験するための機会となった。模擬試験日に都合で試験会場での受験が困難な学生に対しては、自宅受験にて対応した。

・学生個別面談

年度の初めに、担任がクラス全員の学生と面談を行った。その後は学生生活に不安がある者や成績不良の者に対して継続的に面談を行った。面談の情報は学科内で共有した。

②鍼灸学科

・国試対策テストの実施

基礎科目のまとめ資料を作成し配付。

学習状況を確認させる為に、資料よりテストを行った。

・成績不良者面談

成績不良者を対象に、現状の把握を再確認した。

・講習実施

基本科目の知識確認をした。

・個別面談の実施

個別対応により、その個人の問題点に応じた指導を実施。

・個別指導の実施

週1回不得意科目について勉強計画を立てさせ、毎回課題を与えそれについて学習確認と指導を実施。併せて資格取得へのモチベーションコントロールも行った。

また、次年度国試を控える2年生時成績不良者に対し、4月から個別で週1回学習計画を指導し、課題を与え指導をした。資格取得に対するの目的を再確認させた。

8) 課外授業

①柔道整復学科

外部講師および本校卒業生による補習

令和元年7月から令和2年2月の間に、補習を行った。

対象は主として3年生であるが、2年生の参加者もあった。

平日授業日の昼間部・夜間部間の16:45-18:00を中心として180分の講義形式とした

外部講師は本校非常勤講師の歯科医師、本校卒業生は柔道整復師専科教員資格取得希望の平成29年度卒業生(在学中は特待生)

補習には他の教員資格取得希望の卒業生の受講もあった。

・補習日程

回数	日程	回数	日程
1	7月18日	12	11月14日
2	7月25日	13	11月21日
3	8月1日	14	12月12日
4	8月29日	15	12月19日
5	9月19日	16	12月26日
6	9月26日	17	1月9日
7	10月3日	18	1月16日
8	10月10日	19	1月23日
9	10月24日	20	2月13日
10	10月31日	21	2月20日
11	11月7日		

②鍼灸学科

令和元年7月24日 2年生経穴確認テスト

令和2年1月11日 2年生実力確認試験

9) 学生サポート

①企業 EXPO (合同企業説明会)・企業説明会開催

第1回8月5日 参加企業21社(施術体験(4社)) 参加者33名

第2回3月2日 参加企業17社(個別相談) 参加者2名

※3月2日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため企業参加はすべてお断わりした

②学内奨学金制度の継続

経済的な面から学生をサポートするための支援制度。

・国家資格保有学生支援制度

年額10万円(総額30万円)免除 支援期間3年間

入学時に医療・福祉系の国家資格を有する生徒が対象

・キャリア学生支援制度

年額10万円(総額30万円)免除 支援期間3年間

入学時に整体等の代替医療資格を有する生徒が対象

・スポーツ推薦学生支援制度

年額10万円(総額30万円)免除 支援期間3年間

運動部に3年間在籍していた学生またはスポーツの成績優秀者が対象

・夜間部在籍学生支援制度

年額10万円(総額30万円)免除 支援期間3年間

勤労学生支援として夜間部に入学する学生が対象

・Wスクール支援制度

柔道整復学科・鍼灸学科の2学科に同時在籍(Wスクール)する場合、一

方の学費一部を免除

今年度に限り、初年度の学費を42万円免除、2年・3年次は各年次14万円免除を実施

・卒業生支援制度

本学園(中央医療技術専門学校含む)の卒業生が入学する場合、学費の一部を免除

学費免除額は、Wスクール支援制度と同額

・学費分納制度

2回払い(通常)・6回払い・12回払いを制度化する。

1回払いについては、5万円の割引制度あり。

③厚生労働省「専門実践教育訓練給付制度」の対象校

柔道整復学科 夜間部 鍼灸学科 昼間部 夜間部が指定対象 対象者増加

対象者 柔道整復学科夜間部7名 鍼灸学科昼間部3名 夜間部5名

3年生8名 2年生7名 1年生0名

10) 学生校外活動等

①両科共通

・令和元年8月20日 解剖学実習見学(於:昭和大学旗の台キャンパス)

②柔道整復学科

・令和元年5月26日 春季品川区民体育大会 柔道大会出場(参加選手8名)

結果

有段者 90kg級 優勝

81kg級 3位

73kg級 3位

66kg級 3位

無段者 66kg超級 2位

・令和元年7月14日 (公社)東京都柔道整復師会 柔道大会出場

東京都柔整学校対抗試合(団体戦)

結果:第3位

段別個人試合出場

結果:引分

・令和元年8月6日 (公社)全国柔道整復学校協会 柔道大会出場

男子団体戦第3部(5人制) ーリンク戦ー

第1試合 森ノ宮医療 4-1 中央医療学園 敗退

第2試合 長野救命医療 4-1 中央医療学園 敗退

③鍼灸学科

・研究部、来年度発表に向け資料作成に専念。

11) バーベキュー大会

閉校発表に伴う在校生の学園生活の不安感を解消する目的で開催した。

・日程

令和元年7月27日(土)

・開催場所:新宿Flags

東京都新宿区新宿3-37-1 Flags(フラッグス)RF(屋上)

※アルコールの提供なし

12) 国家試験合格祈願

受験生の士気を高め受験に立ち向かう気持ちを奮い立たせる目的で実施した。
柔道整復学科 3 年生 8 名、鍼灸学科 12 名の学生が参加した。

- ・日 程
令和 2 年 2 月 12 日 (水)
- ・場 所
素盞雄(スサノオ)神社 (荒川区南千住 6-60-1)

13) 卒業生会 (同窓会) との連携

- ・就職先の連携
卒業生の勤務先または経営する治療院の求人情報提供に協力を仰いだ。
- ・超音波画像診断装置の提供
柔道整復学科の授業において卒業生会所有の超音波画像診断装置の提供を受けた。
- ・部活動への助成
柔道関連の活動について資金援助の協力を仰いだ。
- ・その他
国家試験合格祈願参加者に対し縁起担ぎのパン (地元名物のハムカツパン) の提供を受けた。

14) 省エネ対策

- ・電気料金の軽減のため購入条件の見直しを実施
- ・平成 31 年 3 月市場連動型による電力購入に変更

15) 学校法人平成医療学園 宝塚医療大学専門学校 (仮称) の申請書類作成及び提出
柔道整復師・はり師・きゅう師養成施設設置計画書 3 月 19 日東京都福祉保健局
に申請 同日受理
目的変更認可申請書・名称変更及び学則変更届 3 月 31 日荒川区子育て支援課に
申請および届出

II. 附属整骨治療院

施術に関しては、2号館2階で行なう。

臨床実習については、従来同様、2号館3階にて対応。

1) 来院患者数について

平成30年度（平均3.9人）に対し令和元年度（平均2.9人）に減少した。

来院数(延べ人数) 586名 内新規患者数(延べ人数) 18名

2) 整骨院収入

保険請求分	537,969円
窓口請求分	192,050円
自費治療分	0円
物販	15,360円
診断書	6,000円
総収入額	751,379円

3) 臨床実習について

認定実技審査を中心とした軟部組織損傷に対する徒手検査法および固定の技術向上を目指し、頸部、腰部、肩部、肘部、膝部、足部を教授してきた。診察の手順、患者への対応また症例検討をシェアするなど自ら考える授業も実施した。また机上では教えることない整骨治療院にある医療機器の説明も行った。また、医療事故を未然に防ぐ知識を養う実習を行なった。

III. 附属鍼灸治療院

1) 鍼灸マッサージ施術について

令和元年度中の鍼灸・マッサージ施術の総取扱件数は671件（前年度900件）で、このうち鍼灸施術によるものは644件（前年度873件）、マッサージ施術によるものは鍼灸併用105件を含め132件（前年度62件）であった。

これら施術による収入金額の総額は2,455,000円（前年度3,001,500円）であった。今年度は昨年にくらべ、鍼灸・マッサージともに取扱件数は減少し、これによって収入金額も減少した。

2) 講習会について

令和元年度中の講習会総取扱件数は8件（前年度13件）で、これらによる収入金額は200,000円（前年度260,000円）であった。このうちおもに在校生を対象とした実技講習会は4件80,000円（前年度8件110,000円）、卒業生を対象とした卒後研修によるものは4件120,000円（前年度5件150,000円）と減少した。

3) 臨床実習について

附属鍼灸治療院で行なわれている鍼灸施術を実地に見学し、実際に行なわれる診察の方法、施術の方法、患者への接遇などについて理解を深めることを目的に実習を行なった。